取扱説明書

DuraVision®
FDF2123W

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

- **取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。**
  www.eizo.co.jp

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

登録方法：次の当社Webサイトにアクセスし、ご登録ください。

www.eizo.co.jp/registration

絵表示について

本書では次の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。

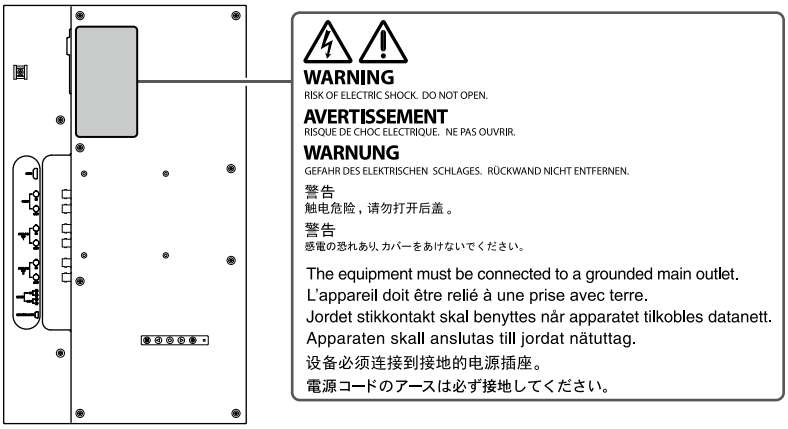
1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5.乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

警告表示位置



⚠ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはEIZOメンテナンスセンターに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

分解しない、製品を改造しない
この製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

修理は販売店またはEIZOメンテナンスセンターに依頼する
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

異物を入れない、液体を置かない
この製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
万一、この製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。

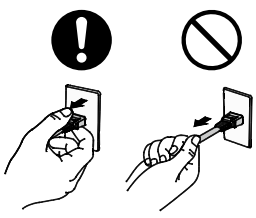
丈夫で安定した場所に置く
不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所で使用しない
火災や感電、故障の原因となります。
- 屋外。車両･船舶などへの搭載
- 湿気やほこりの多い場所
- 水滴のかかる場所。浴室、水場など
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く
- 直射日光が直接製品に当たる場所
- 可燃性ガスのある環境
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）が発生する環境
- ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する
包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

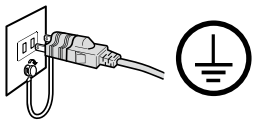
付属の電源コードを使用し、100VAC電源に接続して使用する
付属の電源コードは日本国内100VAC 専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



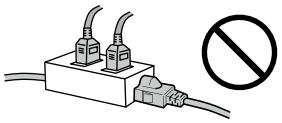
⚠ 警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する



なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

次のような誤った電源接続をしない



誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。
・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
・タコ足配線

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。

⚠ 注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す
コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない
感電の原因となります。

電源プラグの周囲にものを置かない
火災や感電防止のため、異常が起きたときすぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

クリーニングの際は電源プラグを抜く
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源コンセントから電源プラグも抜く

モニターについて

この製品は、監視カメラ画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.8）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

使用上の注意 3

重要 3

モニターについて 7

クリーニングの仕方 8

モニターを快適にご使用いただくために 8

目次 9

第 1 章　はじめに 10

1-1.　特長 10

1-2.　梱包品の確認 10

1-3.　各部の名称と機能 11

第 2 章　設置する 12

2-1.　設置する 12

2-2.　接続する 13

第 3 章　基本の調整 / 設定 16

3-1.　ボタンの操作方法 16

● 基本操作方法 16

3-2.　入力信号を切り替える 16

3-3.　明るさを調整する 17

第 4 章　詳細な調整 / 設定 18

4-1.　設定メニューの基本操作方法 18

4-2.　設定メニューの各機能 19

● カラー調整 19

● 信号設定 21

● 本体設定 24

● 言語選択 24

● インフォメーション 24

第 5 章　管理者向け設定 25

5-1.　「管理者設定」メニューの基本操作方法 25

5-2.　「管理者設定」メニューの各機能 26

第 6 章　こんなときは 27

6-1.　画面が表示されない場合 27

6-2.　画面に関する症状 27

6-3.　その他の症状 27

第 7 章　ご参考に 28

7-1.　仕様 28

付録 30

商標 30

ライセンス 30

VCCI 30

その他規格 30

アフターサービス 31

第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 21.5型画面
- 解像度　フルHD（1920 × 1080）対応
- 高輝度・広視野角パネルを採用
  - IPS方式、最大輝度　1300cd/m^2（標準値）
- HDMI入力に対応
- アナログHD方式（AHD）（BNC）
  - フルHD、アナログHD方式（AHD）に対応
  - 2系統入力
  - 2系統出力（スルーアウト方式）
- コンポジット（CVBS）
  - NTSC、PAL、SECAMに対応
  - 1系統入力
  - 1系統出力（スルーアウト方式）
- ノイズリダクション機能により、アナログカメラのノイズを軽減
- バックライトの遠隔制御（オン・オフ）に対応する専用端子を用意
  - 外部からの制御により強制的にパワーセーブ状態に移行させることができます。
- 薄型・アルミボディによる小型軽量筐体を実現
- ファンレス（自然放熱）
- 24時間連続使用で2年間の長期保証

1-2. 梱包品の確認

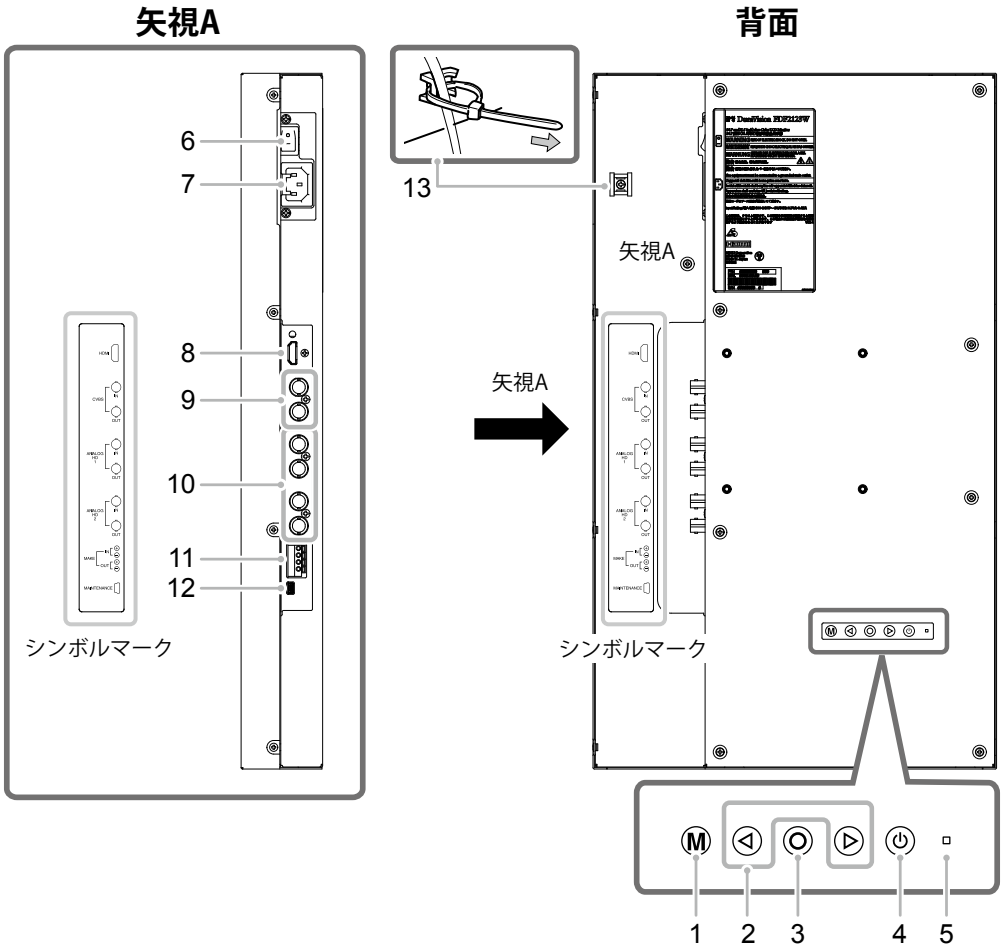
次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものがある場合は、販売店または別紙のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

参考

- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

- モニター
- 電源コード（二芯アダプタ）
- 取扱説明書（保証書付き）
- お客様ご相談窓口のご案内
- コネクタクランプ（HDMIケーブル固定用）（1本）
- 結束バンド（1本）
- VESAマウント取り付け用ねじ（M4×10）
- HD200HS
  HDMI - DVIケーブル（HDMI - DVI-D）

1-3. 各部の名称と機能



1	Ⓜ ボタン	入力信号を切り替えます。 設定メニューが表示されているときに押すと、メニューの階層を 1 段階上げます。
2	◁ ▷ ボタン	設定メニューのタブを選択したり、設定値を選択/調整値を増減する場合に使用します。
3	ⓞ ボタン	設定メニューを表示します。 各メニューの設定/調整項目を選択する場合に使用します。
4	⏻ ボタン	電源を入/切します。
5	電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青　：画面表示 橙　：スタンバイ状態
6	主電源スイッチ	主電源を入/切します。
7	電源コネクタ	電源コードを接続します。
8	信号入力コネクタ	HDMIコネクタ
9	コンポジット信号入出力コネクタ	CVBSコネクタ NTSC信号などのコンポジット信号の入出力時に接続します。
10	アナログHD信号入出力コネクタ	ANALOG HD1コネクタ / ANALOG HD2コネクタ アナログHD信号の入出力時に接続します。
11	外部制御入出力コネクタ	MAKE接点方式。バックライトOFF/ONを遠隔制御できるようにする端子です。
12	mini USB	メンテナンス用。使用できません。
13	結束バンドホルダー	ケーブルを結束バンドで固定するために使用します。

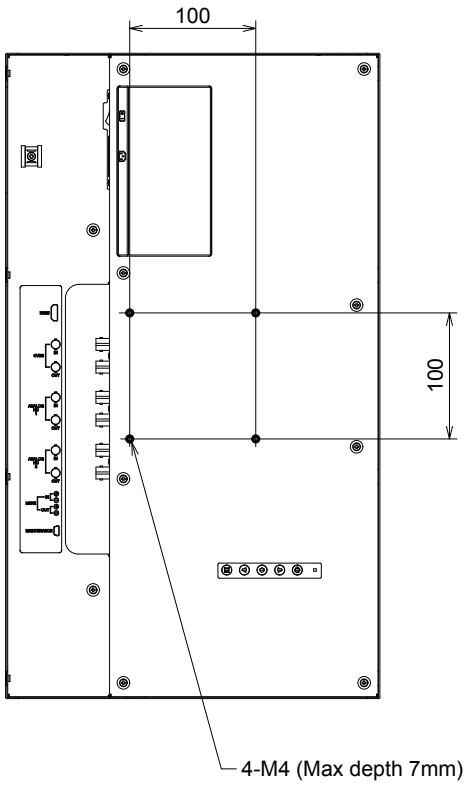
第 2 章　設置する

2-1. 設置する

この製品の取付用ねじ穴位置は次のとおりです。

○ 内：M4　深さ7mm（4箇所）

単位：mm



注意点

- 取付器具の厚さは次の通りのものを使用してください。
  - 付属の取り付け用ねじを使用する場合
    厚さ：2 mm～4 mm
- 市販のねじを使用する場合、ねじの有効ねじ込み長さは4 mm～7 mmのものをお使いください。
- 取付器具への取り付け条件は次の通りです。
  - 締め付けトルク：1.0 N・m～1.4 N・m
  - 使用する工具：プラスドライバー（2番）
- この製品の設置条件は次のとおりです。
  - 設置角度：垂直~45° 下向き
  - 縦長での設置：図に示す方向のみ。
  - 横長での設置：コネクタが下向きになる方向のみ
- 周囲に十分な空間を確保し、空気が循環するように設置してください。

2-2. 接続する

1. モニターの用途に応じて外部機器を接続します。

- コンピュータのモニターとして使用する場合：P.13参照
- 映像機器を使用する場合：P.15参照

● コンピュータのモニターとして使用する場合

注意点

- 今まで使用していたモニターをこの製品に置き換える場合、接続する前に次の表を参照して、コンピュータの設定を必ずこの製品で表示できる解像度、垂直走査周波数に変更しておいてください。

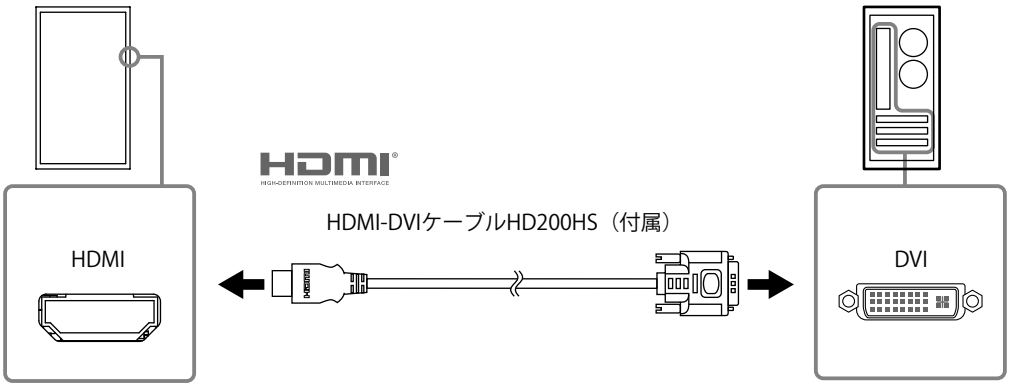
対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

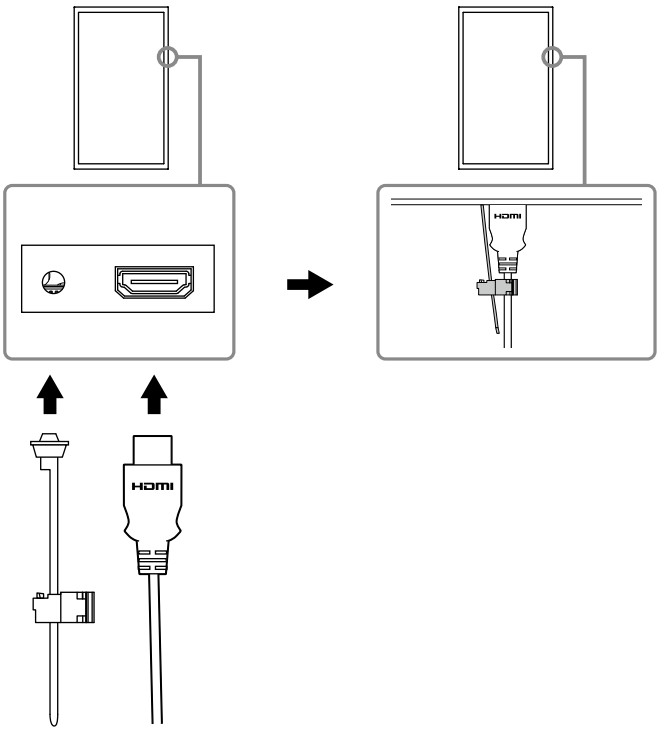
解像度	スキャンタイプ	垂直走査周波数
640 × 480	プログレッシブ	60 Hz
720 × 400	プログレッシブ	70 Hz
720 × 480	インターレース	60 Hz
720 × 480	プログレッシブ	60 Hz
720 × 576	インターレース	50 Hz
720 × 576	プログレッシブ	50 Hz
800 × 600	プログレッシブ	60 Hz
1024 × 768	プログレッシブ	60 Hz
1280 × 720	プログレッシブ	50 Hz
1280 × 720	プログレッシブ	60 Hz
1280 × 960	プログレッシブ	60 Hz
1280 × 1024	プログレッシブ	60 Hz
1680 × 1050	プログレッシブ	60 Hz
1920 × 1080	インターレース	50 Hz
1920 × 1080	インターレース	60 Hz
1920 × 1080	プログレッシブ	50 Hz
1920 × 1080※1	プログレッシブ	60 Hz

※1 推奨解像度です。

1. コネクタに合った信号ケーブルを使って、コンピュータとモニターを接続します。

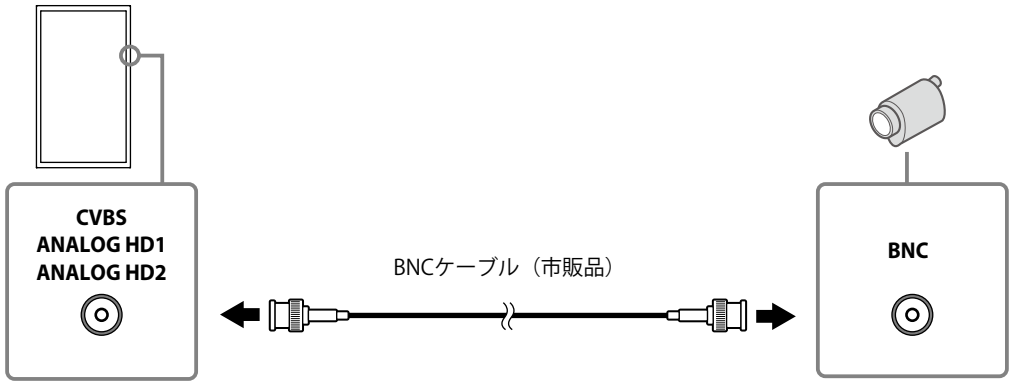


2. 付属のコネクタクランプで信号ケーブルをモニターに固定します。



● 映像機器を使用する場合

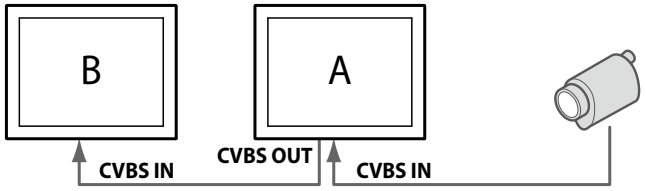
1. コネクタに合った信号ケーブルを使って、映像機器とモニターを接続します。
   映像機器の出力フォーマットを確認して正しいコネクタに接続してください。



参考

- 対応解像度/フォーマットは次の通りです。
  - CVBS：NTSC、PAL、SECAM
  - ANALOG HD1 / ANALOG HD2：AHD(1920 × 1080、プログレッシブ、30Hz)
- モニターの信号出力コネクタ（CVBS / ANALOG HD1 / ANALOG HD2 それぞれのOUT）に別のモニターを接続して、同じ映像を表示することができます。
  - CVBS OUTは別のモニターのCVBS INに接続すると同じ映像を表示することができます。
  - ANALOG HD1 OUT / ANALOG HD2 OUTには別のモニターのANALOG HD入力に接続すると同じ映像を表示することができます。

（例）



2. 必要に応じてMAKE端子に外部制御用信号線を接続します。

制御用信号を有効にするためにはモニターの設定が必要です。詳細は「MAKE制御」（P.26）を参照してください。

3. 電源コンセントに接続します。

付属の電源コードをモニターの電源コネクタと電源コンセントに接続します。

注意点

- 使用後は、電源を切ってください。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

第 3 章　基本の調整 / 設定

この章では、モニター本体背面にある操作ボタンを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については「第 4 章 詳細な調整 / 設定」（P.18）を参照してください。

3-1. ボタンの操作方法

● 基本操作方法

1. メニューの表示

◎ ボタンを押します。

◁ ボタンまたは ▷ ボタンで設定/調整したい項目を選択し、◎ ボタンを押すとサブメニューが表示されます。

2. 設定/調整

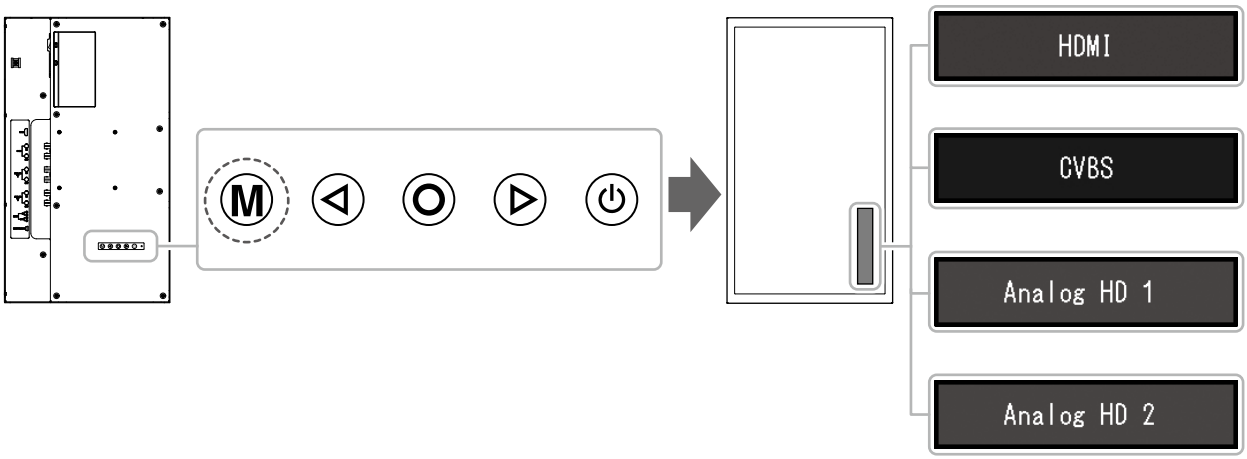
◁ ボタンまたは ▷ ボタンで設定/調整します。

3. 終了

ボタンを操作しない状態が5秒間続くと、メニューが自動的に終了します。

3-2. 入力信号を切り替える

Ⓜ ボタンを押すと、入力を切り替えることができます。



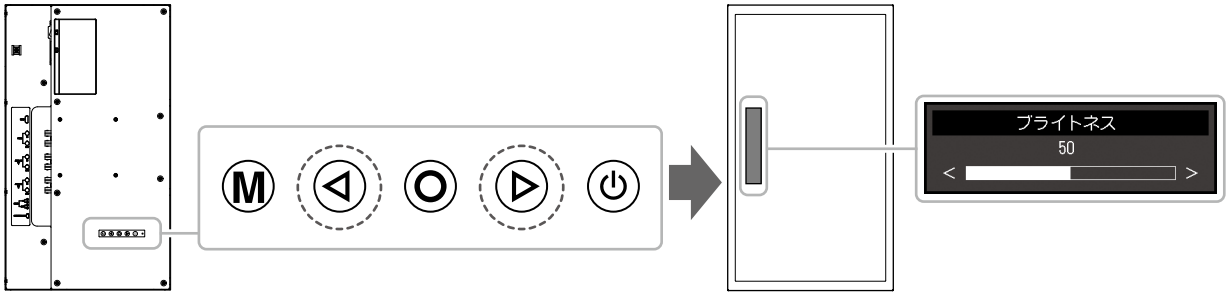
3-3. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

◁ ボタンまたは ▷ ボタンで調整します。

設定値

0～100



第 4 章　詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。
基本的な機能については、「第 3 章 基本の調整 / 設定」（P.16）を参照してください。

4-1. 設定メニューの基本操作方法

ここでは、モニター背面のボタンを使った操作方法を説明します。

1. メニューの表示

◎ ボタンを押します。
◁ ボタンまたは ▷ ボタンでメニュータブを選択できます。

2. 設定/調整

◎ ボタンで設定/調整項目を選択します。
◁ ボタンまたは ▷ ボタンで設定/調整します。

3. 保存/終了

設定/調整終了後 ◎ ボタンを押すと、設定が保存されます。
繰り返し ◎ ボタンを押すと、OSDメニューが終了します。

4-2. 設定メニューの各機能

● カラー調整

カラーの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。

注意点

- モニターの表示が安定するまでに約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

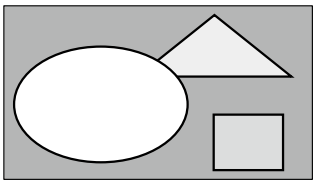
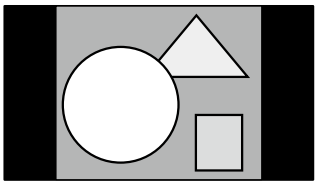
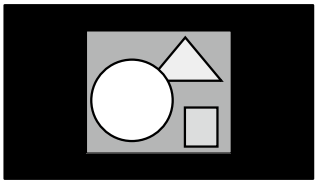
機能	説明
ブライトネス	バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 設定値：0～100 **参考** • ブライトネスが0でも明るいと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。
コントラスト	ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。 設定値：0%～100% **参考** • 100%ですべての色階調を表示します。 • 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。 • コントラスト調整は次のような場合に使用してください。 - ブライトネスが0でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを100%以下に設定します。）
色温度	色温度を調整します。 通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。 設定値：Native、4000K～10000K（100K単位）、User **参考** • 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。 • 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。 • 「Native」で液晶パネル本来の色（ゲインの値は100%）になります。 • ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
ガンマ	ガンマ値を調整します。 モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。 設定値：1.8、2.0、2.2、2.4、ダイナミック **参考** • 「ダイナミック」を選択すると低階調のコントラストを強調したメリハリある表示になります。

機能		説明
詳細設定	色合い	色合いを調整します。 設定値：-100～100 **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	色の濃さ	色の濃さを調整します。 設定値：-100～100 **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 • 最小値（-100）で白黒の画面となります。
	ゲイン	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。 設定値：0%～100% **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 • 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 • ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
リセット		現在選択しているカラー調整値を初期設定に戻します。

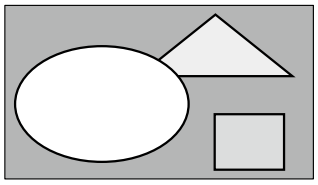
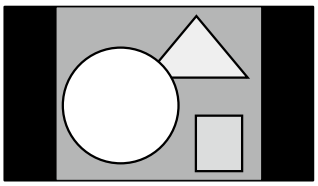
● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。
各機能の設定値は、入力信号により異なります。

○：設定可　ー：設定不可

機能	入力信号			説明
	HDMI	CVBS	ANALOG HD1 ANALOG HD2	
画面サイズ	○	○	—	推奨解像度以外の画像を表示する場合に、モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。 設定値（HDMI）： 自動、フル、拡大、ノーマル • 「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 • 「フル」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 • 「拡大」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 • 「ノーマル」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 **参考** • 設定例 - 「フル」  - 「拡大」  - 「ノーマル」 

○：設定可　ー：設定不可

機能	入力信号			説明
	HDMI	CVBS	ANALOG HD1 ANALOG HD2	
画面サイズ	○	○	—	設定値（CVBS）： フル、4:3 • 「フル」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 • 「4:3」 4:3のアスペクト比を保ったまま、画面全体に画像を表示します。 **参考** • ANALOG HD1 / ANALOG HD2接続時は「フル」固定になります。 • 設定例 - 「フル」  - 「4:3」 
カラーフォーマット	○	ー	ー	入力信号のカラースペースを指定できます。 正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。 設定値：自動※1、YUV 4:2:2、YUV 4:4:4、RGB **参考** • CVBS、ANALOG HD1およびANALOG HD2接続時は「YUV 4:2:2」固定になります。

○：設定可　ー：設定不可

機能	入力信号			説明
	HDMI	CVBS	ANALOG HD1 ANALOG HD2	
入力レンジ	○	ー	ー	接続する機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、輝度レンジを拡張して表示することができます。 設定値：自動※1、フル、リミテッド • 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 • 「フル」 信号の輝度レンジの拡張をおこないません。 • 「リミテッド」 信号の輝度レンジ16～235を0～255に拡張して表示します。 **参考** • CVBS、ANALOG HD1およびANALOG HD2接続時は「リミテッド」固定になります。
ノイズリダクション	○	○	○	映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。 設定値：オフ、弱、中、強 **参考** • ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。
シャープネス	○	○	○	画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。 設定値：オフ、弱、中、強
オーバースキャン	ー	○	○	表示範囲（オーバースキャン率）を切り替えます。「オフ」を選択すると、入力映像のほぼすべてを画面に表示します。 設定値：オフ、オン **参考** • HDMI信号入力時は無効です。 • 入力信号によっては、画面の周辺部にノイズが見える場合があります。

※1 設定値を自動的に判別するための入力信号情報が検出された場合のみ有効

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。

機能	説明
パワーセーブ	コンピュータまたはデジタル映像機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。 省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。 • 省電力モードからの復帰方法 - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 設定値：オン、オフ **参考** • 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 • モニターを使用しないときは、電源プラグを抜くことで電力が消費されなくなります。 • MAKE端子で外部から制御することで、信号が入力されている状態でもモニターを省電力モードに移行させることができます。詳細は「5-2.「管理者設定」メニューの各機能」（P.26）を参照してください。モニターのキーを操作すると省電力モードから復帰させることができます。
オールリセット	次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。 • 「管理者設定」メニュー内の設定 **参考** • 「管理者設定」メニューについては、「第 5 章 管理者向け設定」（P.25）を参照してください。

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号、解像度または信号フォーマット、入力信号）を確認できます。

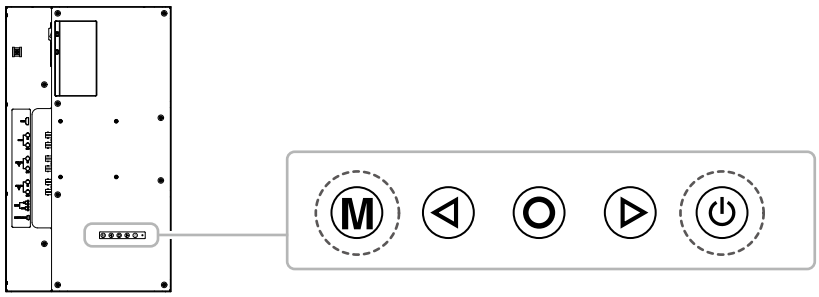
第 5 章　管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。
このメニューは管理者用です。通常のモニター使用時には、設定の必要はありません。

5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ⏻ ボタンを押して、モニターの電源を切ります。
2. Ⓜ ボタンを押しながら、⏻ ボタンを2秒以上押してモニターの電源を入れます。



「管理者設定」メニューが表示されます。

2. 設定/調整

◎ ボタンで設定/調整項目を選択します。
◁ ボタンまたは ▷ ボタンで設定/調整します。

3. 保存/終了

「完了」を選択して ◎ ボタンを押すと「管理者設定」メニューが終了します。電源を切り、再度電源を入れると設定が保存されます。

5-2. 「管理者設定」メニューの各機能

機能	説明
入力自動検出	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。 設定値：オフ、オン • 「オフ」 入力信号の選択を手動でおこないます。モニター背面の操作ボタン Ⓜ で表示する入力信号を選択できます。詳細は「3-2. 入力信号を切り替える」（P.16）を参照してください。 • 「オン」 入力信号の選択を自動でおこないます。複数のコンピュータまたはデジタル映像機器を接続している場合に、コンピュータまたはデジタル映像機器の電源がオフになったり省電力モードに入ったりすると、自動的に他の信号を表示します。 **参考** • この機能が「オン」に設定されている場合、すべてのコンピュータまたは映像機器の電源がオフになるか、省電力モードに入っている場合のみ、モニターの省電力機能が動作します。
操作ロック	設定した状態を変更できないように、モニター背面の操作ボタンをロックすることができます。 設定値：オフ、メニュー、オール • 「オフ」 すべてのボタンが有効です。 • 「メニュー」 ◎ ボタンをロックします。 • 「オール」 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。
MAKE制御	MAKE端子の制御の有効・無効を設定します。 設定値：オン、オフ **参考** • 「オン」にすると、外部からの制御により強制的にパワーセーブ状態に移行させることができます。
MAKE極性	ご使用のセンサー（a接点またはb接点）に応じて設定します。 • 「ポジティブ」 a接点センサー使用時の設定です。 • 「ネガティブ」 b接点センサー使用時の設定です。 設定値：ネガティブ、ポジティブ

第 6 章　こんなときは

6-1. 画面が表示されない場合

症　　状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・電源ランプが点灯：橙色	・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・外部制御でパワーセーブ状態になっていませんか。
・電源ランプが点灯：青色	・外部機器の電源は入っていますか。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・「ブライトネス」、「コントラスト」の各調整値を上げてみてください（P.19参照）。

6-2. 画面に関する症状

症　　状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	・「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してみてください（P.19参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。）
2. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	・これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
3. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	・画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
4. 残像が現れる	・この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 ・長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

6-3. その他の症状

症　　状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	・操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」（P.26）参照）。
2. 設定メニューの項目が選択できない	・グレーの文字で表示されている項目は、変更できません。

第 7 章　ご参考に

7-1. 仕様

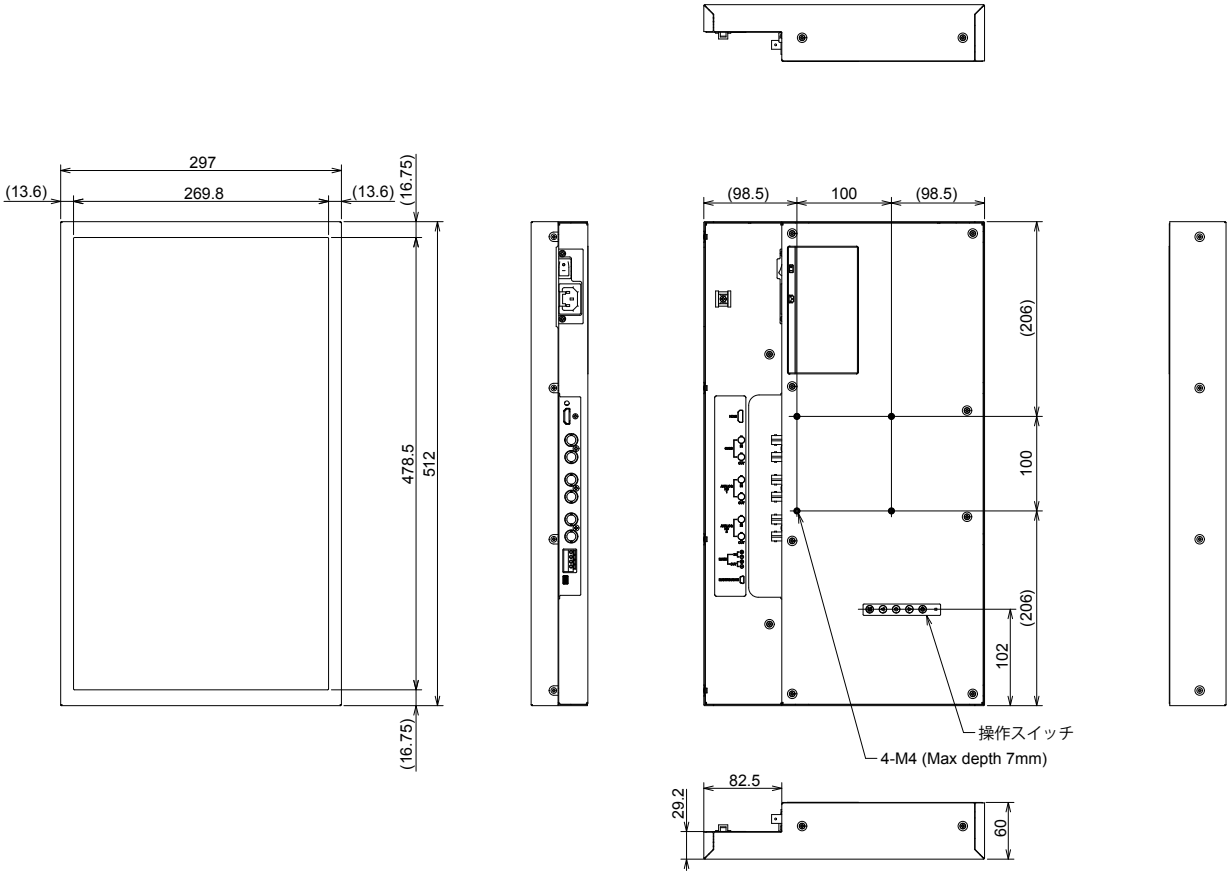
液晶パネル	種類	高輝度IPS	
	バックライト	LED	
	サイズ	54.7 cm（21.5）型	
	解像度	1920ドット×1080ライン	
	表示面積（横×縦）	476.1 mm×267.8 mm	
	画素ピッチ	0.248 mm	
	表示色	8 bitカラー：　　約1677万色	
	視野角 （水平 / 垂直、標準値）	178° / 178°	
	コントラスト比 （標準値）	1000：1	
	応答速度（標準値）	25 ms（中間階調域）	
PC入力	入力端子	HDMI×1	
	走査周波数 （水平 / 垂直）	15 kHz～68 kHz / 50 Hz～61 Hz	
	ドットクロック（最大）	148.5 MHz	
ビデオ入力	入力端子	CVBS（コンポジット）×1	BNC（CVBS）×1 BNC（ANALOG HD）×2
	ビデオ入力フォーマット	NTSC、PAL、SECAM	アナログHD（AHD）
	水平解像度	350 TV本以上	800 TV本以上
ビデオ出力	出力端子 （Loop Through）	BNC（CVBS）× 1 BNC（ANALOG HD）×2	
外部制御	入力端子	専用入力端子（MAKE接点方式）	
	出力端子	専用出力端子（MAKE接点方式、スルー出力）	
電源	電源入力	定格AC100 V±10 %、50 / 60 Hz、0.65 A	
	最大消費電力	59 W以下	
	省電力時消費電力	14 W以下　　（1系統入力時）	
	待機時消費電力	0.5 W以下	
機構	外観寸法	297 mm×512 mm×60 mm（突起部を除く）	
	質量	約4.6 kg	
動作環境条件	温度	0˚C～50˚C	
	湿度	20 %～80 %（R.H.,結露なきこと）	
	気圧	540 hPa～1060 hPa	
輸送 / 保存環境条件	温度	-20˚C～60˚C	
	湿度	10 %～92 %（R.H.,結露なきこと）	
	気圧	200 hPa～1060 hPa	

主な初期設定値

機能	HDMI	CVBS / ANALOG HD1 / ANALOG HD2
ブライトネス	100	
ガンマ	2.2	
コントラスト	100%	
色温度	6500K	
オーバースキャン	ー	オフ
MAKE制御	オフ	
MAKE極性	ポジティブ	

外観寸法

単位：mm



付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。

ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。

AHDはNextchip Co., Ltd.の登録商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i･Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-A

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。
当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は当社のWebサイトよりお申し込みください。
（www.eizo.co.jp）

※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

保証書

この保証書は、購入日がわかる書類（納品書やレシートなど）とともに保管し、保証を受ける際はご提示ください。

製品名	保証期間
DuraVision® FDF2123W	お買い上げの日より **2年間**

記入欄

フリガナ	製造番号（S/N） 製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている8桁の番号です。
お名前　　様	
TEL　　（　　）	お買い上げ年月日　　年　　月　　日
〒 ご住所	販売店の住所、店名

保証規定

1. この製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無償で故障箇所の修理または交換をいたします。保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償となります。
   - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因や、塵・埃に起因する故障および損傷
   - 強い振動や衝撃を受ける場所に搭載された場合に生じる故障および損傷
   - 当社が想定する使用環境や使用状況を逸脱した場合
   - 電池の液漏れによる故障及び損傷
   - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
   - センサー経年変化による性能劣化（測定値の変化など）
   - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
   - 付属品（ケーブル、取扱説明書、CD-ROMなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 当社指定の消耗品（電池、リモコン、タッチペンなど）の故障、損傷、劣化、紛失
   - 塵・埃などの外的要因による冷却ファンの異音、回転不良
   - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理または交換をお約束するものです。保証期間経過後の修理または交換については、お買い上げの販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。
4. 当社では、この製品の補修用性能部品（意匠部品を除く、製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の生産終了後、最低7年間保有しています。この期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合があります。
5. 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがあります。
6. 修理状況や補修用性能部品の在庫切れなどにより修理できない場合は、修理に代えて同等性能製品への置き換えを提案させていただくことがあります。
7. 当社は、この製品の使用または故障により生じた直接、間接（逸失利益などを含む）のいかなる損害について責任を負いません。また、この製品の記憶装置に記録された内容の消失などについても同様です。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
9. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

EIZO株式会社
〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地
www.eizo.co.jp

00N0N143B1
UM-FDF2123W-JA

Copyright © 2019-2020 EIZO Corporation. All rights reserved.

2nd Edition-February, 2020 Printed in Japan.